

唐津市内で 研究会を開催

車販、人材育成の講演行っ

CALL研究会

体であるCALL研究会

は、7月20日から2日

間、唐津市内のホテル

で「三たび、泣こよ

か、ひっ飛ば」をテー

マに今年3回目の研究

する販売業界の支援団

会を開催した。
CALL研究会は、L
CL（神奈川県伊勢原
市・長友正興社長）が
運営。自立と相互支
援、人間中心主義を理
念に108社が加入、

中古車や車検、リー
ス、钣金、顧客管理や
レンタカーなどのシス
テムを開発している。

冒頭、講演者と参加
者の自己紹介からスタ
ート。米井哲郎智頭石

油社長（出光系）鳥取
県八頭郡智頭町）がC
ALL研究会の概要を説

明した。「みんなでS
Sをなんとかしよう。

一人ひとりが主役で
す。それぞれが自立と
相互支援をモットーに

頑張りましょう」とあ
いさつした。

続いて運営会社であ
るLCLの生川正洋氏

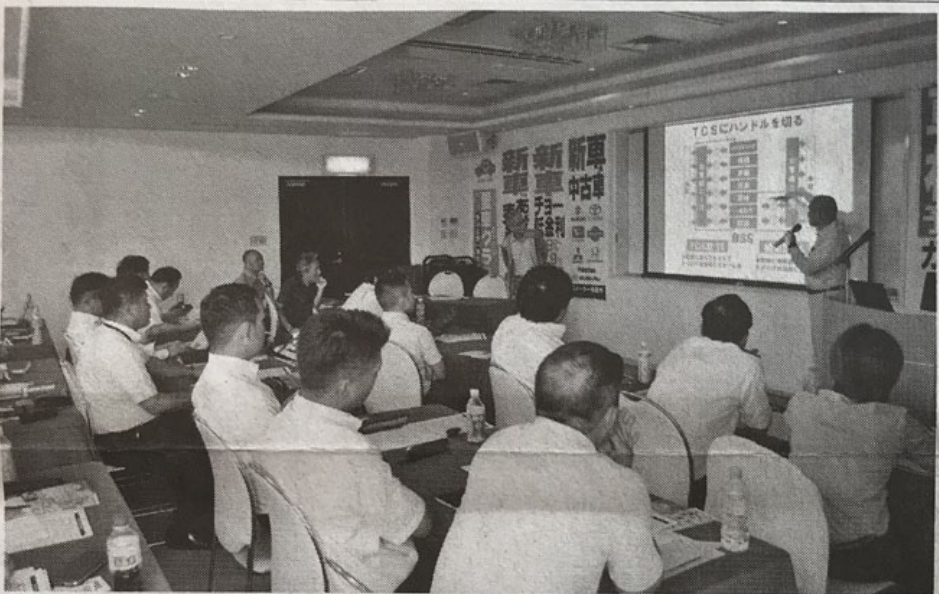
が「これからの時代

は、車販を中心とした
TCSに取り組むべ
き」と説明し、研修会
に入った。

米井社長が「CS地
域基盤会社への挑戦」、
金澤穰金沢石油専務
（出光系）福岡県直方
市）が「TCSの発展
こそこれから道」、山
下真司山商社長（昭シ
系）京都府南丹市）が
「全力をあげて車販に
取り組もう」、平岡務
平岡石油店（出光系）
佐賀県唐津市）が「人
を育てることからTCS
Sは始まる」と題し
て、2日間にわたって
講演した。

参加者はこれまでの
最高記録となる80人を
超えた。初日の夜に
は、ホテルのプールサ
イドで、恒例となって
いるパーベキューと交
流会が行われた。

研究会には「今後へ
の力を得たい」と西日
本豪雨の被災地からの
参加者もいるなど、今
後への奮闘を期する会
となった。



研修会の様子